

コミュニケーションロボット名： ロビジュニア

企業名： 株式会社タカラトミー

I. 実生活での活用法

項目と具体的内容・留意点	コミュニケーション		① 頭のボタンを押して、「ロビジュニア」と話しかけると「なあに」などの反応をかえしてくれる。その後、「遊ぼうよ」や「自己紹介して」など 20 フレーズの言葉を投げかけるとロビジュニアがその回答に沿ったお話を手足や首を動かしてくれる。 また、時計やカレンダー機能があるので、普段ロビジュニアがひとりでにしゃべることもあり、その際に季節や時間に沿った会話も楽しめる。 ② 時間や季節に沿った独り言や、「おはよう」などの 20 種類の言葉に反応する会話 ③ 使用者 ④ スマートフォンなどを介さない、会話を提供できる
	外 コミュニケーション以	被介護者	特になし
		介護者	特になし
使用する環境 (場所、時、物、人等)			平らなテーブルの上
おこりうるマイナスと対処法	被介護者	疾患	なし
		心身機能	なし
		活動	なし
		参加	なし
	介護者	疾患	なし
		心身機能	なし
		活動	なし
		参加	なし
禁と応	被	適 疾患	なし

	介護者	応	心身機能	なし
			活動	なし
			参加	なし
		禁忌		なし
	介護者	適応	疾患	なし
			心身機能	なし
			活動	なし
			参加	なし
禁忌		なし		

II. 機械としての要件定義

II-1. 有用性

主機能 (コミュニケーションとして用いる手段)	1. ロボットからの出力	1. 音響的：スピーカーから、声を発する。 2. 光学的：感情や状態を目のLEDの色で表現してくれる。 3. 動作・表情：手足や首を動かす。
	2. ロボットへの入力	1. 音響的：頭のボタンを押して「ロビジュニア」と声をかけた後、ロビジュニアが「なあに」などの回答が来た後に胸のマイク部分に20種類の認識するワードをいうと認識し反応する。 2. 光学的：目から赤外線をだし、目の前のものを認識してそちらの方向を向く。

II-2. 機械としての安全性

情報セキュリティ・プライバシー	
安全基準への準拠	玩具の安全基準 ST マーク取得

II-3. 機器の構造・機構

構造・機構	機器の外観と重量	W200 H200 D170 560 g
	電気系 操作・操縦方法の概要	

IV. 費用、メンテナンス費用・体制

費用		15,000 円（税抜）/一台当たり
供給体制		8 月に 100 台用意可能
メンテナンス	費用	
	体制	